

# 京都吉田における神楽と浄土の風景

川崎 雅史

<sup>1</sup>正会員 工博 京都大学地球環境学堂 教授  
(〒615-8540 京都市西京区京都大学桂C1, E-mail: kawasaki.masashi.7s@kyoto-u.ac.jp)

本稿は神楽岡（吉田山）と紫雲山の丘陵と東山景観の眺望景観について、地勢的な視点から論考したものである。神楽岡には、近世まで吉田神道の中心地として栄えた吉田神社があり、その東隣りの紫雲山には、浄土宗を開いた法然上人の草庵である金戒光明寺と真如堂が存在している。さらに東側の東山には、慈照寺敷地の前進の浄土院（旧浄土寺）、法然院など浄土宗の寺院が集積した。浄土教の布教と習練の場所としての景域が集約されてきた場所である。神楽岡と紫雲山の間には天皇陵があり、紫雲山には広域的な墓地が存在している。神仏は異なっても、神楽岡と紫雲山の2つの丘陵は京都の中心的な聖域の場所であり、小さな領域ではあるが、浄土観と神道のもつ宇宙観が合わさり、集合的なコスモロジーを感じ取ることができる。その地形や配置や方向性、眺望を合わせて、聖域の風景を考察するものである。

**キーワード:** 神楽岡, 吉田神社, 浄土宗, 紫雲山金戒光明寺

筆者は近代の吉田山住宅の開発に関する研究に参加してきたが、これらの研究においては、谷川住宅群からの東山如意ヶ嶽（大文字山）への風景は当時革新的な新しい眺望が近代において開拓されたことを明らかにしてきた<sup>1), 2)</sup>。本発表では、それが新しいとされる背景にもある、近代以前の古来からの風景において再考し、標高100m程の神楽岡（吉田山）と紫雲山の2つの丘陵と、慈照寺、法然院周辺における東山の景域について考察すると共に、地勢と歴史的な視点から評論し、東山の風景とは異なり、絵図や文献にも描かれなかった西方への風景の可能性を論じたものである。

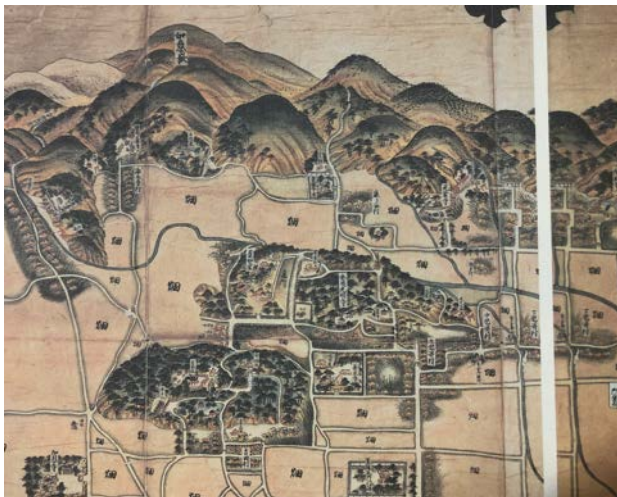
古来から、神楽岡には、近世まで吉田神道の中心地として栄えた吉田神社があり、その東隣りの紫雲山には、浄土宗を開いた法然の金戒光明寺と真如堂が存在している。上人が1175年念仏の教えを広めるために、山頂の石の上で念仏された時、紫雲山にみながり光明があたりを照らしたことからこの地に草庵をむすばれたとされている<sup>3)</sup>。さらに東側の東山には、慈照寺敷地周辺にあった浄土院（旧浄土寺）、法然院など浄土宗の寺院が集積した。浄土教の布教と習練の

場所としての景域が集約されてきた場所であった。神楽岡と紫雲山の間には、後一条天皇や陽成天応陵などがあり、紫雲山には寺院と合わせて広域的な埋葬地が存在している。神仏は異なっても、神楽岡と紫雲山の2つの丘陵は京都の中心的な聖域の場所であり、小さな領域ではあるが、浄土の世界観と神道のもつ宇宙観が合わさり、集合的なコスモロジーを感じ取ることができる。

本研究発表では、神楽岡における吉田神社の地形と神社建築の配置と眺望、紫雲山における地形と真如堂と金戒光明寺建築の配置と眺望、神楽岡と紫雲山のつながり方と関係性、東山山麓における旧浄土院の地形と眺望などを基本的に概観して、聖域の風景の断片を拾うことを試みる。幾度となく歩くことから感じられる土地の勾配や眺望の特徴と絵図や地形図に合わせて考察することが基本的な考察の方法である。浄土観と吉田神道のもつ宇宙観が合わさる場所に、神仏混合的で共有できるコスモロジーを感じ取ることが可能な風景は果たしてあるのかどうか。それが存在すれば、吉田神楽岡における聖域の風景のアイデンティティに一步近づくことができよう。



神楽岡・紫雲山・東山の地形 (国土地理院地図)



元禄14年寶測大絵図 (1701年) 京都地図集成 (柏書房)



慈照寺からの西方への眺望 (神楽岡と西山)



吉田神社本殿



金戒光明寺からの山門との眺望

#### 参考文献

- 1) 出村嘉史・川崎雅史, 吉田山丘陵地における文化的領域の景観構成に関する研究, 土木計画学研究・講演集No. 26, No. 222 (CD-ROM), 2002.
- 2) 出村嘉史・川崎雅史「近代吉田山の丘陵地開発における景観デザインに関する研究」, 土木計画学研究・論文集, Vol. 20 no. 2, pp. 409-418, 2003.
- 3) 金戒光明寺HP, <https://www.kurodani.jp/about/>
- 4) 山口敬太・中島功・川崎雅史, 京都の古庭園における地形的圍繞の構成と眺望景観の特性, 土木学会論文集D, Vol. 65, pp. 317-328, 2009.
- 5) 京都二: 江戸時代図誌, 筑摩書房, 2012.
- 6) 伊藤 聡, 神道とは何か, pp. 232-244, 中公新書, 2012.
- 7) 法然の生涯, 浄土宗HP, <https://jodo.or.jp/jodoshu/lifetime/>
- 8) 法然上人絵伝, 岩波文庫, 2002.
- 9) 山折哲雄, 最澄に秘められた古寺の謎, ウェッジ, 2021.
- 10) 廣川勝美編, 神仏研究, 翰林書房, 2004.
- 11) 山田圭二郎, 間と景観, 技報堂出版, 2008.